

市民参加プロセス計画書：第4期岡崎市市民協働推進計画

Q・そもそも、なぜこの計画又は事業が必要なのか？計画策定又は事業推進により解決したい課題は何か？

・本市では、市民協働の推進について基本的な理念を定め、並びに市民、市民活動団体、事業者及び市の役割を明らかにするとともに、市民協働に関する施策及び市民活動の推進を図ることを目的に「岡崎市市民協働推進条例」を平成21年3月に制定し、同条例の第7条に定める基本施策を推進する計画として平成22年度から市民協働推進計画を定めています。

・第7次岡崎市総合計画の総合政策指針の分野別指針「(4)多様な主体が協働・活躍できる社会づくり」に位置づけられており、人口構成変化や年代別人口偏在に起因する担い手不足に負けない町内会の持続的な活動を新技術導入などにより支援しつつ、多様な主体が協働・活躍できる地域共生社会の実現による安全安心なまちを目指すとしています。

・市民ニーズが複雑化し、市民協働の必要性が高まる一方で、女性活躍や高齢者雇用の促進などにより、協働の主な相手方となる市民活動団体の担い手が不足していることや、デジタル技術の必要性が提唱されていることなどから、今後の市民協働のあり方を検討し、第4期計画を策定していく必要があります。

	実施時期（年月）	具体的な市民参加手法・実施場所・実施回数など	対象者（対象とした理由）	・提供する情報 ・聴取したい情報	目的（何についてどこまで合意形成したいか）
検討段階	令和6年7月	テーマ型市民活動団体を対象としたアンケート	テーマ型市民活動団体（市民活動の主な担い手のため）	・活動状況、概要 ・必要とする支援 ・協働経験の有無、協働の必要性	市民協働の相手方にあたるテーマ型市民活動団体がどのような支援を求めているのか確認する。
	令和6年9月	地縁型市民活動団体を対象としたアンケート	各総代（市民活動の主な担い手のため）	・活動における課題 ・必要とする支援 ・デジタル技術に関する考え	市民協働の相手方にあたる地縁型市民活動団体がどのような支援を求めているのか確認する。
	令和7年2月	令和6年度第1回市民協働推進委員会	市民協働推進委員会委員（学識経験者、市民活動を行う者、公募市民などの多様な委員の意見を伺うため）	・第3期計画の実績状況報告 ・第3期計画の評価 ・アンケート集計結果報告 ・計画策定に係るスケジュールの確認	第3期計画の評価を行うと共に、アンケート結果等から第4期計画策定に向けた大まかな方向性に対する合意を得る。
構想段階	令和7年9月	令和7年度第1回市民協働推進委員会	市民協働推進委員会委員（学識経験者、市民活動を行う者、公募市民などの多様な委員の意見を伺うため）	・第4期計画の素案 ・第4期計画の素案に対する意見	第4期計画の素案を示し、市の考えと委員の考えのすり合わせを行う。項目、指標、具体的な計画内容について合意を得る。
計画段階	令和7年11月	令和7年度第2回市民協働推進委員会	市民協働推進委員会委員（学識経験者、市民活動を行う者、公募市民などの多様な委員の意見を伺うため）	第4期計画パブリックコメント案の確認・検討	パブリックコメント案を示し、市と委員の考えのすり合わせを行い、合意を得る。
	令和8年1月	パブリックコメント	全市民（パブリックコメントは誰からの意見も受け付けるため）	・第4期計画（案） ・第4期計画（案）に対する意見	第4期計画（案）に内容に対する合意を得る。
	令和8年2月	令和7年度第3回市民協働推進委員会	市民協働推進委員会委員（学識経験者、市民活動を行う者、公募市民などの多様な委員の意見を伺うため）	・パブリックコメント結果報告 ・第4期計画最終案の提示	第4期計画最終案を提示する。
実施・運用段階					